

|          |           |             |    |                   |
|----------|-----------|-------------|----|-------------------|
| 適用範囲     |           | 型式          |    | PC450LC-11<br>18M |
| 仕様       |           | 最大高さ        | mm | 18,670            |
|          |           | ブーム及びアーム収納  |    | 3折れ               |
| ブーム及びアーム |           | 基本ブーム       | m  | 3.79              |
|          |           | 第二ブーム       | m  | 4.73              |
|          |           | 第三ブーム       | m  | 2.15              |
|          |           | 第一アーム       | m  | 6.02              |
| 区分       | 検査箇所      | 検査項目（条件）    | 単位 | 検査基準値             |
| 安全装置     | 作業範囲規制装置  | 警報装置の仕様     |    | 警報型               |
|          |           | 警報鳴作業半径     | mm | 12,200            |
|          |           | 警報鳴作業半径(縦向) | mm | 12,200            |
|          | ブーム降下防止装置 | ブームシリンダ     |    | 図4-26.2参照         |
|          |           | 伸縮量         | mm | 3.0               |
|          |           | 測定時間        | 分  | 5                 |

## 1. シリンダー伸縮量の測定

### (1) 測定条件

- ①水平堅固な平坦地で測定すること。
- ②シリンダー交換直後は、シリンダー内のエア抜き後に実施すること。
- ③エンジン停止状態で実施すること。
- ④作動油の温度は 45℃～55℃で測定すること。
- ⑤測定姿勢にセッティングして 1～2 分経過後に測定を開始すること。

### (2) 測定姿勢

- ①アタッチメント装着無し
- ②測定姿勢は 2 折れ、3 折れの参考図の通りとする。

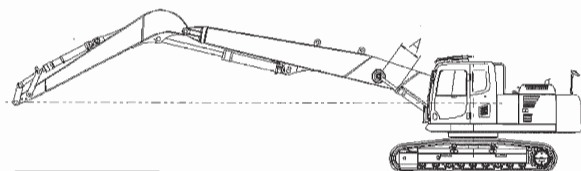


図 4-26.1 2 折れロングタイプ測定姿勢

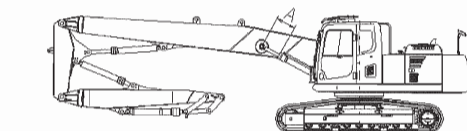


図 4-26.2 3 折れロングタイプ測定姿勢

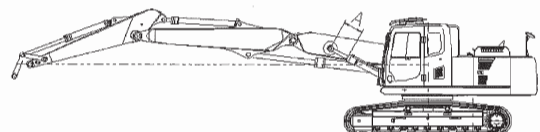


図 4.26.3 3 折れ 2 ピースブームタイプ測定姿勢

### (3) 測定

- ①測定開始 5 分間経過後の伸縮量を測定すること。
- ②ブームシリンダーの測定位置 A を測定する。

## 2. 作業範囲制限装置の確認

### ①PC350LC-8 2PB

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 11m の位置に動かし、作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

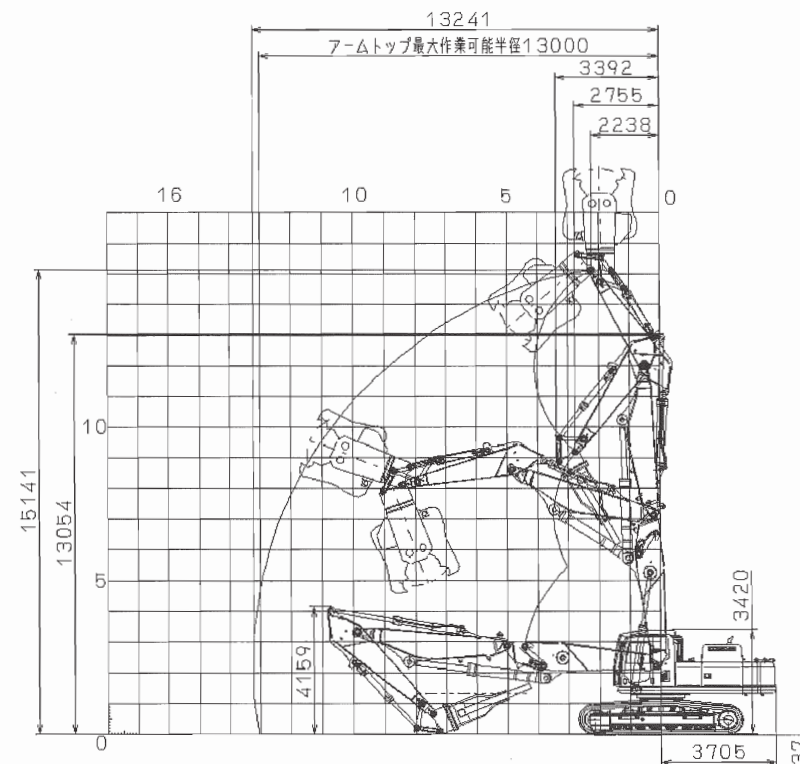


図 4-27.1 PC350LC-8 2PB 作業範囲装置の確認

コマツ

## ②PC350LC—8 20M

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 11m の位置に動いたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

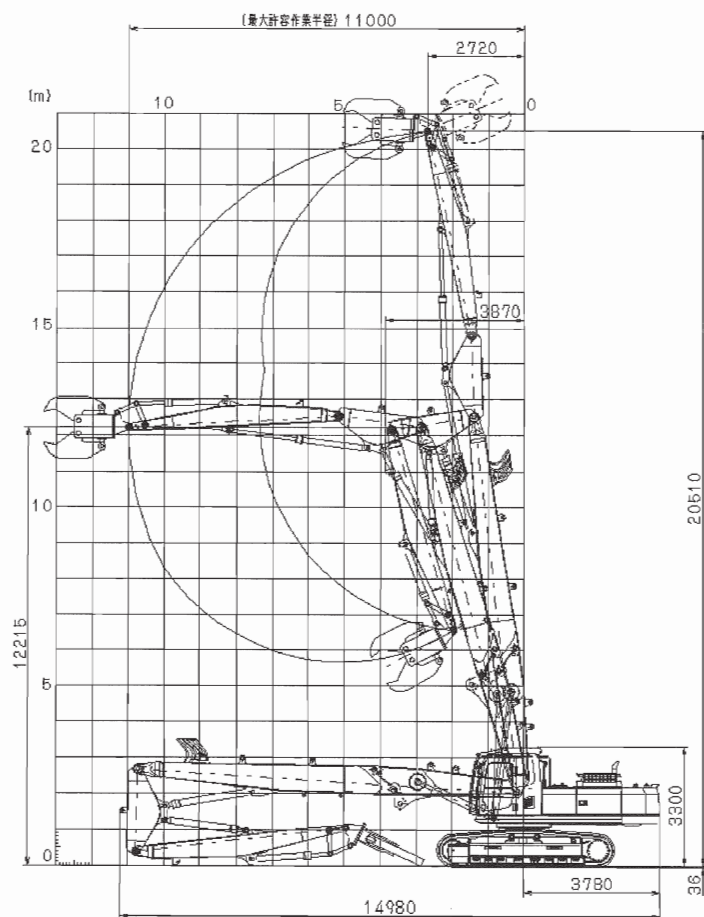


図 4-27.2 PC350LC-8 20M 作業範囲装置の確認

特定解体用機械

## ③PC450LC-8 2PB

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 13m の位置に動いたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

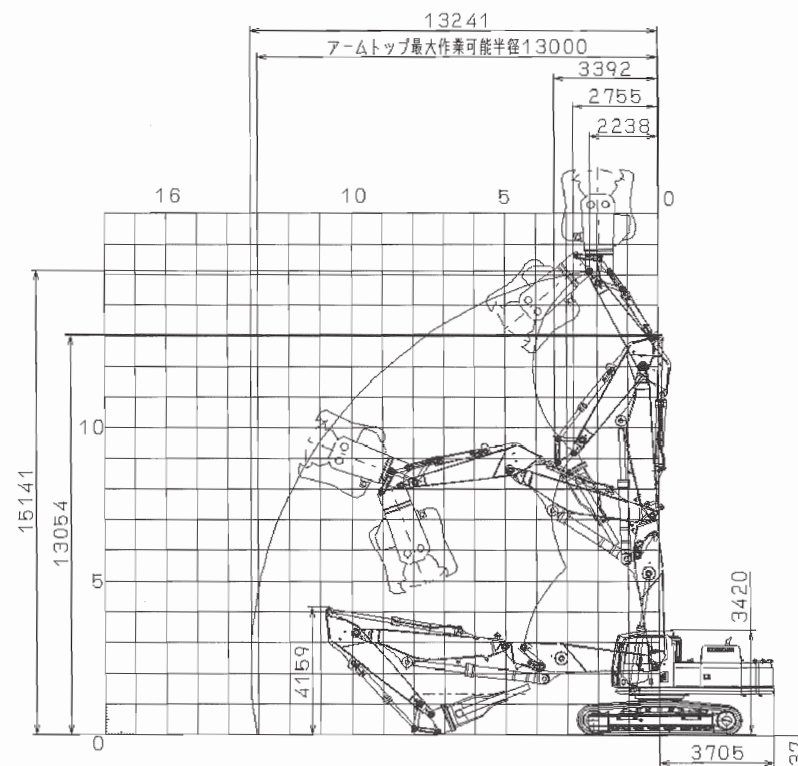


図 4-27.3 PC450LC-8 2PB 作業範囲装置の確認

④PC450LC-8 24M

ブーム及びアームの角度に関わらず、アーム先端がベースマシンの旋回中心から 13m の位置に動いたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。（下部走行体は図の通り前後方向で確認すること）

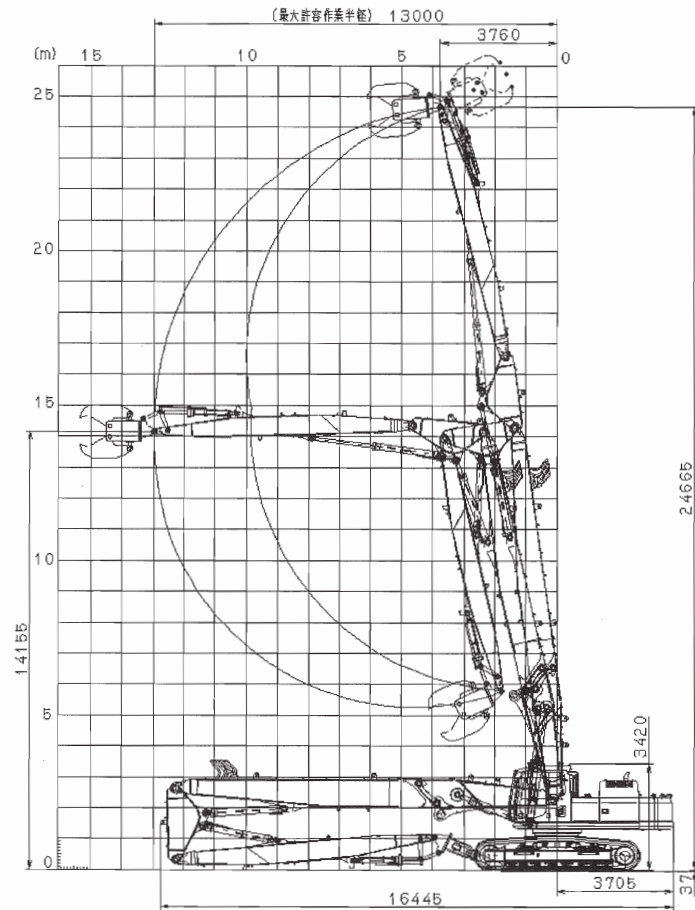


図 4-27.4 PC450LC-8 24M 作業範囲装置の確認